

お知らせ

INFORMATION

No.2017-13

2017年2月

病体生理研究所

アンモニア容器使用方法及びラベルの変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度アンモニア専用容器の製造メーカーであるニプロ株式会社より、以下のご案内がございましたので、使用方法および貼付しているラベルの表示を変更させていただきます。

当該製品には関東化学株式会社の製造による血液検査用アンモニアキット「シカリキッドNH₃」の専用除蛋白液を充填しております。採血の際に除蛋白液[※]が人体内へ逆流することを防止するために使用方法の変更をさせていただきます。

ご使用の際には**真空採血は実施せずにシリンジで採血してから、注射針を外して分注操作での血液採取**をお願い申し上げます。

大変お手数をお掛け致しますが事情をご賢察の上、何卒ご了承下さいませようお願い申し上げます。

※除蛋白液は強酸性の性質を持ち蛋白を凝固させる性質を持っています。

敬具

記

【アンモニア採取法及びラベルの変更について】

新規管ラベル	採取方法
<p>血中アンモニア測定用採血管</p> <p>真空採血厳禁</p> <p>採血後は十分に転倒混和を行ってください。 速やかに遠心分離を行い、上清を別容器に移し替えて凍結保存してください。</p> <p>新法方法/常温 FXP</p> <p>新規管ラベルは5月以降の流通となります。</p>	<p>検体容器は真空採血管ですが、除蛋白液が4.0 mLと多く充填されています。その為、直接採血による、除蛋白液の逆流を防止するため真空採血は避けて下さい。</p> <p><手順></p> <ol style="list-style-type: none">(1) 採血した血液を、直ちに1.0 mL添加ライン[※]まで入れて下さい。 キャップを開け、シリンジの針を外して行うか、キャップにシリンジを刺して、ゆっくり入れて下さい。強く押しますと溶血するおそれがあります。 ※1.0 mL添加ラインは、検体容器の側面に白色のライン、ラベル部分には黒色のラインが入っています。(2) キャップを閉め、強めに10回以上振って、十分混和して下さい。(3) 遠心分離後、上清2.0 mLを絶凍用試験管に移し、凍結して下さい。

以上